

名芸大生合作「北名古屋」動画

北名古屋市の紹介動画が完成した。市内にある名古屋芸術大の学生が、ドラマ「金田一少年の事件簿」や映画「真田十勇士」などで知られる堤幸彦監督(64)の監修の元で作った。六つのコースから集った約20人の学生が得意分野を生かした力作だ。

「スランプで絵が描けなくなった少女が北名古屋の街を歩いているうち、インスピレーションを感じて再び描けるようになる」という物語。おしゃれなベーカーリーやストリートダンスをする若者といった都会的な風景に加え、農道や古刹、旧家など昔懐かしい映像がテンポよく展開する。

「外国人にも北名古屋を紹介できる紹介動画を」という市の方針でスタート。名古屋育ちで同大で講義をしたことのある堤監督と学生の共同制作に決まった。

学生たちのリサーチは昨年6月に始まった。「まずは雰囲気を感知しよう」と街を探



堤幸彦監督

おしゃれ+懐かしさ 堤幸彦監督監修



紹介動画の撮影風景＝名古屋芸術大学提供

寮。写真を撮ったり、市民に「どんな街ですか」とインタビューして回ったり。中心になったのはライフスタイルデザインコース所属の森田健さん(22)と大嶋晴さん(22)ら。「この街を外国人が歩いたらどう思うのだろう」という視線でリサーチした。夏休み中も週2〜3回集まり、企画書やシナリオを作った。堤監督からは「心象風景に偏りすぎないで」「市民や多様な風景との関わりに光るものが欲しい」といった助言

6コース20人、得意分野生かす

も受けた。

アクションカメラやドローンを使った撮影は9月に開始。メディアデザインコースの教員らの指導を受けながら約半月間の撮影・編集作業に挑んだ。

声優アクティングコースやダンスパフォーマンスコースの学生ら12人も出演。指導した水内智英准教授は「それぞれ強みがある。いろんなコースの学生が力を発揮できた」と振り返る。堤監督からは「美しく、行きたくなる。映っている人の笑顔がいい。平日頃この街で頑張っているから、自然な笑顔が撮れている」と評価してもらった。教員の助力や市の意見も受けながら今年2月に完成した。

同大では3月に卒業式があった。卒業生たちは、「都会だと縁が遠く、田舎だと強すぎる。そんな中でバランスの取れた街」(大嶋さん)、「受け入れてくれるし関わられる。今後いろいろなありそうな街」(森田さん)と魅力を再発見した街にエールを贈る。

動画は市のHP (<https://www.city.kitanagoya.lg.jp/jinji/1700141.pdf>) やYouTubeで閲覧できる。(高原敦)